

平成24年7月10日

担当 第6年 山崎 誠二

1 ねらい

展示物の見学や体験活動を通して、縄文時代の人々の生活やその工夫に目を向けるとともに、歴史学習に対する興味・関心を高める。

2 評価

展示物の見学や体験活動を通して、縄文時代の人々の生活やその工夫に目を向けるとともに、歴史学習に対する興味・関心を高めることができたか。

3 学習活動について

社会科「米づくりのむらから古墳のくにへ」『米づくりが始まる前の時代』
縄文時代の人々の生活や工夫について興味関心を持って調べ学習を進める。

4 事前指導

- ・縄文時代、弥生時代の人々の生活について復習をする。
- ・見学当日の活動予定について知らせる。
- ・縄文の森広場の施設の概要について知らせ、見学への興味・関心を高める。
- ・「探検ノート」の活用方法について知らせる。

5 当日の指導（活動）内容

(1) 見学学習

- ・復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学を予定
- ・全体を二つのグループに分け、館職員の説明を聞きながら学習
〈探検シートを利用〉

(2) 体験学習 石のアクセサリー

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導

見学、体験を通して分かったことや感じたことを、各自ワークシートにまとめる。

利用学習報告書

平成24年7月19日

担当 第6学年 山崎 誠二

1 事後指導について

(1) 実施日

平成24年7月12日(木) 1～4校時

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で学習してきたことの復習をするとともに、体験的活動を通して理解を深める。
- ・総合的な学習との関連を図り、分かったことを分かりやすく新聞にまとめる。

2 送付する資料 なし